



「子どもの自主性を育む、手をかけすぎない指導」

「令和5年度 学校の業務改善」では、3つの柱を示しました。そのうちの1つ目が「子どもの自主性を育む、手をかけすぎない指導」です。今回は2つの中学校の取組事例を紹介します。

キーワード:保護者・地域と共に“自主自律”へ

鯖江市 東陽中学校

保護者に説明がつくものは、まずやってみる

1 テストの見直し

授業の振り返りや見取りを生かし、生徒の学びに向かう力を伸ばす評価に取り組む。

- ・業者テスト導入:年3回の定期考査
- ・デジタル採点システム導入:教員作成の単元テスト
- 単元ごとの評価をしっかりと行う→今後は教科担任面談実施
- 生徒の自律的な学びへ

2 校則の見直し

- 服装・頭髪に関する校則:以前よりゆるやかに
- 実際、乱れることはなかった
- ◎TPOに合わせることを生徒自ら考える
- ◎指導に関する負担や時間が削減



3 忘れ物の取り次ぎをしない

- 原則、保護者が届ける忘れ物を取り次がない。
- (生命に関わるものを除く)
- ◎生徒が自己管理できるように
- ◎取り次いでいた事務職員の負担軽減



他にも...

- ・部活動の共同管理体制 勤務時間内に学年会を実施できるように
- 火:1年、木:2年、金:3年
- ・通知表年2回 所見欄簡略化
- ・鯖江市内中学校 R5年度後期～ 休日の部活動地域移行 完全実施へ

4 校時表・会議の見直し

曜 日	月・火・木・金	水
学 年 打 合	8:00 ~	8:10
朝 の 会	8:10 ~	8:20
1 校 時	8:30 ~	9:20
2 校 時	9:30 ~	10:20
3 校 時	10:30 ~	11:20
4 校 時	11:30 ~	12:20
昼 食	12:30 ~	12:55
昼 休 み	12:55 ~	13:15
5 校 時	13:20 ~	14:10
6 校 時	14:20 ~ 15:10	なし
清 掃	15:15 ~ 15:25	なし
帰 り の 会	15:35 ~ 15:45	14:20 ~ 14:30
部 活 動	~17:20	なし
完 全 下 校	17:30	14:40

- ・朝活動の廃止
- ・部活動休養日の水曜には会議等を入れない→教材研究
- ・第1・第3月曜にも部活動休養→会議・現職教育

以前 昼休みを削って繰り上げた
生徒のゆとりも必要→2学期に見直し

5 開かれた学校

- ・大企業・地元企業とコラボしたSDGs学習や、地域活性化プロジェクト「桜プロジェクト」
- ・保護者・地域の理解が進んでいて好意的・協力的
- ・公民館等の協力のもと、放課後の学びの場

キーワード:生徒の心に火をつける

越前町 織田中学校

与える・指導・管理統制 → 子どもの「意欲」「心」・見守る

1 生徒主体の「委員会活動」

「何委員会を設けるか」生徒会執行部で決定
真に必要な委員会設置・委員会の統廃合→全校集会で説明
例:図書委員会廃止 図書の貸出・返却→委員の管理は不要と判断

2 行事ごとに教員がチーム制で担当

生徒会行事の担当者負担が大きかった。執行部担当とは別に行事ごとに担当が変わる。執行部が様々な教員と関わることができ、新しい視点も得られる。

3 各学年の行事運営を生徒に委ねる

「何のための行事なのか」生徒自らが考え、参加する。
運営から委ねられることでより主体的になる。
手をかけすぎないことで教員の負担軽減にも。

4 3年生夏季学習会 計画を生徒が立案

生徒自身で立案することで、学ぶ意欲につながる。
参加自体も任意で、生徒自身で考える。

5 教科連絡の見直し

- 係が教科担任に次の授業に必要な持ち物を聞き取り
- タブレットで共有しているファイルに書き込み
- ◎生徒の荷物の軽量化 ◎帰りの会の時間短縮
- ◎連絡ノートの内容精査:自身の生活管理を主目的に

6 校時表・登庁時間の見直し

曜 日	月・火・水・金	木
登 校 完 了	8:00	
朝 の 会	8:05 ~	8:15
1 校 時	8:25 ~	9:15
2 校 時	9:25 ~	10:15
3 校 時	10:25 ~	11:15
4 校 時	11:25 ~	12:15
給食準備(清掃)	12:20 ~	12:30
給 食	12:35	13:00
5 校 時	13:25 ~ 14:15	13:10 ~ 14:00
6 校 時	14:20 ~ 15:10	14:10 ~ 15:00
帰 り の 会	15:25 ~ 15:35	帰りの挨拶 15:05
部 活 動	15:45 ~ 17:30	なし
完 全 下 校	17:40	15:15

- ・ランチルーム給食のため、給食準備と清掃を同時並行
- ・部活動の時間を短縮することなく下校時刻を繰り上げ
- ・木曜は昼休み短縮、帰りの会短縮→授業についての研修会実施

他にも...

- ・DX データ有効活用 重複作業の見直し
- ・ICTを活用した授業研究会(Canva使用)
- ・学校運営支援員(教員業務支援員)への業務依頼の工夫
- HP更新業務担当
- 各教員からの業務の依頼は共有のエクセルへ入力内容、×切など 先の見直しをもって早めに依頼
- 優先順位を付けて限られた出勤日内できるように
- 時期により繁閑の差が出ないように

例 学年だより
HP掲載用と紙媒体を統合



編集後記

「まずはやってみよう」という言葉を生徒にかけるのと同じように、自主性を大切にしている学校でのGGKでも、「まずはやってみよう」というスタンスを大切にしているという共通点がありました。

「今回の決定はもう揺るがないもの」としぱりつけてスタートするのではなく、効果や課題を見直してPDCAのサイクルを回していくことが大切ですね。生徒の自主性という点では、VOL.4の金津中学校でも「うまくいかないことも含めてすべてが学び」とのお話がありました。ぜひご確認ください。

次号 VOL.8も
お楽しみに!

